

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	5月	20日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	垣内	久門	小西	島田	鶴田
	本井				
取材対象先	天理市：善福寺の木造阿弥陀如来坐像				

所在地	天理市和爾町1217				
所有者(取材 対応者)名	川野真広副住職 (個人情報保護)			連絡先	0743-65-5211
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：善福寺 川野隆潤住職、川野真広副住職				
市町村 指定文化財	彫刻	1躯	木造阿弥陀如来坐像 1981(昭和56)年11月7日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	檜の一木造りの坐像で胸元を狭めて大衣を通肩にまとうのが特色。9世紀から10世紀にかけての制作で天理 市内屈指の古像。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	安置されている本堂は2017(平成29)年に建築されたもので火災報知器が設備されている。住職、副住職家族は本堂横に住まわれている。	特になし。
獣害対策	被害の有無、対策など 近隣ではタヌキやアライグマの被害があるが本堂は新しく侵入が出来ないため被害はない。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	重要文化財の本尊や調査対象の阿弥陀如来坐像のほか、多くの仏像が安置されている。維持管理は重責だが、本堂も新しく像の傷みも少なく当面は問題ないと思われる。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

副住職は仏事の際の二胡演奏など精力的に色々な活動されており、7月7日には境内に祀る弁財天のお祭りが開催され二胡の演奏会が行われる。有名寺院ではないが、非常に元気な寺院だと感じた。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	5月	20日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	垣内	久門	小西	島田	鶴田
	本井				
取材対象先	天理市：善福寺の木造阿弥陀如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造阿弥陀如来坐像

文化財 (正面写真)	文化財 (角度を変えて、写真)
	
文化財 (安置状態の全体写真)	気になる部位の写真
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入
<p>本尊は重文の阿弥陀如来坐像で、本像は付近にあった願興寺、常楽寺、谷脇寺のいずれかから持ち込まれた物と思われる。像高56.7cmの檜の一木造り。9世紀後半から10世紀初めの平安時代の作。本堂を新築した時に台座や光背も新調し、像本体に残る金泥や漆箔も後補である。定印を結ぶ手に劣化が見られるが全体に綺麗に残されている。</p>	<p>和爾町は和爾氏発祥の地で近くにある和爾氏の氏神・和爾大明神を祀る和爾坐赤阪比古神社にはもともと常楽寺があったという。副住職のお話では檀家は80軒ほどで少ないが土地柄結束力が強い地域だそうだ。</p>